

4 就農条件の準備状況

- これまでに1年間以上にわたる農家、農業法人等での本格的研修を受けたことがあり（又は研修中）、目指す農業（作目）の技術と知識は身につけた。
- 就農希望地で、就農に当たって親身になって面倒を見てくれる世話役的な人がいる。
- 農地を取得（購入又は借り入れ）するには法律（農地法等）にもとづいた許可と手続きが必要で、一定の要件をクリアすることが必要であることを知っている。
- 営農のために用意できる自己資金額は
 - 200万円以上 500万円未満 …………… 1/4ポイント
 - 500万円以上 1,000万円未満 …………… 2/4ポイント
 - 1,000万円以上 2,000万円未満 …………… 3/4ポイント
 - 2,000万円以上 …………… 4/4ポイント
- 営農資金が自己資金で足りず、融資制度を利用する場合、保証人になってくれる人が見込める。
- 経営についての一定の知識（複式簿記等）はある。
- 農産物の販売について自信がある（マーケティング関連業務経験、元の職場同僚・知人・友人等のネットワーク活用など）。

5 農村生活・就農後の生活について

- 営農資金の他に、当面の生活資金（1～2年程度）を用意している。
- 農業以外に本人や家族に収入を得る手だてがある。
- 農業をするには、住居がアパートなどでは難しいことを知っている。
- 農地と住居が離れていると作業が不便であることを知っている。
- 農村で生活する場合、地域とのコミュニケーションの重要性を知っている。
- 農業に関わる共同作業や地域での役割が求められることを知っている。

自身が当てはまるものをチェックし、1問を1ポイントとして換算し（4「■営農のために用意できる自己資金額は」を除く）、1～5の項目毎に、各項目の合計ポイントでレーダーチャートを記入して下さい。

